

来年3月北海道新幹線開業

十勝の食、観光PR

帯広観光協が本社訪問

北海道十勝地方のキャンペーンガール「とかち青空レディ」の藤井早紀さん(22)と、帯広観光コンベンション協会の役員ら2人が1日、秋田魁新報社を訪れ、十勝の食や冬のイベントなどをPRした。来年3月26日の北海道新幹線開業を前にした観光キャンペーンの一環。

十勝地方は日高山脈の東側に位置し、19市町村からなる。畜産のほか、小麦や小豆、砂糖の原料となるテンサイの生産が盛んなことから、パン屋や菓子店が多い。

十勝平野のほぼ中央にある帯広市は、ご当地グルメの豚

丼や十勝ワインが有名。帯広三大まつりの一つである「おびひろ氷まつり」(2月)は多くの観光客でにぎわう。

北海道新幹線を利用すると、新函館―秋田間は現行の在来線を利用するより1時間ほど短い約3時間半でつながる。藤井さんは「来年は水着で入浴できる温泉施設も完成する予定。ぜひ遊びに来てほしい」とアピールした。

また本紙の読者を対象に、「恋人の聖地」として知られる幸福駅(帯広市)のレプリカ切符付き台紙を抽選で5人にプレゼントする。締め切りは15日。希望者は帯広観光コンベンション協会(☎0155・22・8600)に電話して必要事項を伝える。

(千葉園子)



北海道十勝地方の魅力をPRする「とかち青空レディ」の藤井さん